

保全活動日記

実施日 2021 12/5 (SUN)	時間 10:00-12:00	天気 晴れ	参加人数 40 人
------------------------------	-------------------	----------	-----------------

信太山丘陵里山自然公園では、多様性の高い三次草原の復元をめざして環境保全活動に取り組んでいます。

12月の保全活動は、東側エリアの主園路やスマレの小径の草刈を行いました。
また、同時開催でNPO いずみの国の自然館三輪氏を講師とし里山講座を開催しました。

東側エリアの主園路やスマレの小径の草刈



刈草はレーキでしっかりと集めます



親子の連係プレーは、スムーズに作業が進みます



繁茂したネザサは刈払機で刈り取ります



周辺地域にお住まいの方の参加もありました



里山講座を受講した後、受講生は園路沿いの草刈りを実践しました



園路沿いはネザサなどの雑草が増えていました



活動場所



before



after

信太山里山講座 『公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ』



刈払機の動かし方をみんなでイメージします

多様性の高い二次草原の復元を行うために継続的に草刈りを行う活動の目的について説明の後、作業に必要な「鎌」「剪定ばさみ」「枝切ばさみ」「レーキ(熊手)」「ノコギリ」「ナタ」「刈払機」について解説がありました。



刈払機は体の右側で操作するようにします



マンツーマンによる指導で器具や機械の使い方を学びました



受講後の草刈の実践



刈払機を使って主園路沿いの草を刈りました



鎌やレーキ(熊手)を使って尾根筋草原の草を刈りました



▼「信太山丘陵里山自然公園」についての詳しい情報は、市のホームページをご覧ください。

以下のワードで検索 /

信太山丘陵里山自然公園

検索



◀ QR コードで読み取り

信太山丘陵にヤギが来る？

11月の保全活動ミーティングで大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 緑地保全学研究グループの李さんから「ヤギの放牧による信太山丘陵ネザサ草原の管理手法に関する実験的研究」について説明がありました。



実験地

実験予定地は東側エリアの中央の草原です



大阪府立大学 大学院生の李さん

ヤギは、令和4年度に現れる予定です。またヤギのための小屋や牧柵も設置されるようです。

ヤギにネザサを食べてもらい、ネザサの生育が抑制される実験結果となることを期待しましょう。



西側エリアの散策路づくりに協力する李さん

信太山丘陵里山自然公園 新型コロナウイルス感染防止対策

- 三密(密閉、密集、密接)を避けること。
- 原則として、マスクを着用すること。ただし、熱中症対策に配慮し、「水分」をこまめにとり、「塩分」をほどよくとること。また、活動中に苦しくなった場合はマスクを外して活動する、または休憩すること。
- 必ず軍手を着用し、活動前・後の必要に応じて、準備したアルコール等の除菌液・シートにより手の消毒を行うこと。
- 草刈機、カマ、剪定鋏などの道具や拡声器など、他の人が触れる可能性のある物には除菌シートにより消毒を行った後、再度使用するよう心掛けること。
- 新型コロナウイルス感染症の症状の疑いがある時、或いは体調がすぐれず、咳やくしゃみ、発熱がある時は活動に参加しないこと。